

第4次岩手町障がい者福祉計画（第7期岩手町障がい福祉計画及び第3期岩手町障がい児福祉計画を含む）（案）のパブリックコメントの結果について

○実施期間 令和6年1月22日（月）～令和6年2月18日（日）

○閲覧場所 役場1階健康福祉課、中央公民館（ゆはず交流館）、沼宮内公民館、川口公民館、一方井公民館、水堀公民館、北山形公民館、久保公民館、南山形公民館
岩手町ホームページ

○実施結果 6件（2名）の意見

○意見等及び意見に対する町の考え方

内 容	意見等の趣旨	意見に対する町の考え方
安心・安全な生活環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・車椅子利用者にとって、事前に多目的トイレが町内のどこにあるかを知っておくことは大切です。多目的トイレ設置マップのような周知方をお願いします。 ・障がい者（特に車いす利用者）が乗車できるバス（リフト付きバス）を配備していただきたい。現行のバスでは乗車できない。 ・公共施設（旧浮島小学校のグラウンドと校舎を結ぶ階段）に手すりを付けて欲しい。 ・障がい者のほか、町民にとっての健康維持のため、冬季間でも利用できる床の抜けた公共建築物が欲しい（ゲートボール、モルックなど、グラウンドを使用したい）。 	<p>いただいたご意見を関係機関等と情報共有し、検討するとともに、今後の参考とさせていただきます。</p>
自立した生活の支援・意思決定支援の推進	<p>初めての障がいで、今後の生活に不安心配がある方へのカウンセリング・メンタルヘルスがあればよいと思います。</p>	<p>相談できる窓口について、わかりやすい周知に努めるとともに、相談支援の充実に取り組んでまいります。</p>
その他	<p>・岩手町にも支援学校があれば良いと思います。支援学級より専門の先生方が指導して下さると思うからです。障がい児とはまた別かもしれませんが、不登校が社会的に問題になっていて、学校のあり方、社会のあり方、引きこもりをなくするためにも考えていかなければと思います。互いの存在を認め合う環境づくりをしていかなければならないと思います。</p>	<p>不登校問題、学校のあり方等につきましては、いただいたご意見のように、互いの存在を認め合う環境づくりが必要ではないかと考えます。町では、インクルーシブ教育を推進するとともに、関係機関が連携を取りながら、教育支援体制や多様な学び場の充実に図ってまいります。</p> <p>なお、特別支援学校の町内への設置については、県内の公立の特別支援学校は全て県立であるなど、町が対応することは難しいと考えられるため、いただいたご意見は県に伝えます。</p>